



2018年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年7月31日

上場会社名 ナブテスコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6268 URL http://www.nabtesco.com
 代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 寺本 克弘
 問合せ先責任者（役職名） コーポレート・コミュニケーション部長（氏名） 黒須 昭仁 (TEL) 03-5213-1134
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 2018年8月31日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年12月期第2四半期の連結業績（2018年1月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第2四半期	142,555	6.9	6,387	△53.6	13,038	△23.3	8,792	△32.5	7,886	△36.9	7,692	△46.1
2017年12月期第2四半期	133,359	14.3	13,761	10.1	16,993	44.9	13,032	62.0	12,497	56.3	14,261	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2018年12月期第2四半期	円 銭 63.62	円 銭 63.58
2017年12月期第2四半期	101.23	101.14

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2018年12月期第2四半期	百万円 306,872	百万円 180,340	百万円 170,590	% 55.6
2017年12月期	301,557	177,002	167,537	55.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2017年12月期	円 銭 —	円 銭 34.00	円 銭 —	円 銭 38.00	円 銭 72.00
2018年12月期	—	36.00			
2018年12月期(予想)			—	37.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	307,000	8.7	25,000	△15.2	33,600	△3.7	23,600	△6.1	190.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期2Q	125,133,799株	2017年12月期	125,133,799株
② 期末自己株式数	2018年12月期2Q	1,154,019株	2017年12月期	1,888,247株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期2Q	123,944,062株	2017年12月期2Q	123,450,259株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
3. 補足情報	16
(1) セグメント別受注残高	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、精密減速機の売上が堅調に推移したことに加えて、中国市場における建設機械向けが好調を維持したことにより、売上高142,555百万円となりました。営業利益は、連結子会社に係るのれんの減損損失を計上した結果、6,387百万円となりました。税引前四半期利益は、持分法による投資利益が増加したことにより、13,038百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,886百万円となりました。

① 受注高、売上高、営業利益

当第2四半期連結累計期間の受注高は、前年同期比2,850百万円(△1.9%)減少し145,560百万円となりました。売上高は、前年同期比9,196百万円(6.9%)増加し142,555百万円となり、営業利益は、前年同期比7,374百万円(△53.6%)減少し6,387百万円となりました。売上高営業利益率は4.5%となりました。

セグメント別概況は次のとおりです。

【受注高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	56,543	59,029	4.4
トランスポートソリューション事業	40,613	41,363	1.8
アクセシビリティソリューション事業	41,985	36,302	△13.5
その他	9,269	8,867	△4.3
合計	148,410	145,560	△1.9

【売上高】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	53,412	59,814	12.0
トランスポートソリューション事業	36,722	38,045	3.6
アクセシビリティソリューション事業	35,540	36,076	1.5
その他	7,684	8,620	12.2
合計	133,359	142,555	6.9

【コア利益】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	増減率(%)
コンポーネントソリューション事業	10,037	10,369	3.3
トランスポートソリューション事業	4,085	2,179	△46.7
アクセシビリティソリューション事業	2,325	1,480	△36.4
その他	695	1,184	70.3
全社または消去	△3,276	△4,120	—
合計	13,866	11,092	△20.0

(注) コア利益は、売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

【営業利益又は損失】

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	増減率 (%)
コンポーネントソリューション事業	10,030	10,587	5.6
トランスポートソリューション事業	3,900	△2,938	△175.3
アクセシビリティソリューション事業	2,304	1,463	△36.5
その他	695	1,278	83.9
全社または消去	△3,168	△4,003	—
合計	13,761	6,387	△53.6

【コンポーネントソリューション事業】

コンポーネントソリューション事業の受注高は、前年同期比2,486百万円(4.4%)増加し59,029百万円となりました。売上高は、同6,402百万円(12.0%)増加し59,814百万円、営業利益は、同558百万円(5.6%)増加し10,587百万円となりました。

精密減速機は、生産設備の自動化・省人化ニーズにより堅調に推移し、売上高は前年同期比横ばいとなりました。油圧機器は、中国市場や新興国における建設機械需要の高まりにより、売上高は前年同期比増収となりました。

【トランスポートソリューション事業】

トランスポートソリューション事業の受注高は、前年同期比750百万円(1.8%)増加し41,363百万円となりました。売上高は、同1,323百万円(3.6%)増加し38,045百万円、営業損失は、連結子会社OVALO GmbHに係るのれんの減損損失5,249百万円等により、同△6,838百万円(△175.3%)の2,938百万円となりました。

鉄道車両用機器では、堅調な国内向けと中国地下鉄向けの増加により、売上高は前年同期比増収となりました。航空機器は、民間航空機向けでB737MAX向けが増加するも、B777新機種への切替の端境期が続き、売上高は前年同期比横ばいとなりました。商用車用機器は、堅調な国内市場向けと東南アジア市場の回復により、売上高は前年同期比増収となりました。船用機器では、回復の兆しはあるものの、海運・造船市況の不透明感が続いており、売上高は前年同期比横ばいとなりました。

【アクセシビリティソリューション事業】

アクセシビリティソリューション事業の受注高は、前年同期比5,684百万円(△13.5%)減少し36,302百万円となりました。売上高は、同536百万円(1.5%)増加し36,076百万円、営業利益は、同841百万円(△36.5%)減少し1,463百万円となりました。

自動ドア事業は、堅調に推移し、売上高は前年同期比増収となりました。

【その他】

その他の受注高は、前年同期比402百万円(△4.3%)減少し8,867百万円となりました。売上高は、同936百万円(12.2%)増加し8,620百万円、営業利益は、同583百万円(83.9%)増加し1,278百万円となりました。

包装機は、国内外食品向けが堅調に推移し、売上高は前年同期比増収となりました。

(参考) 地域ごとの情報

【売上高】

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	増減率(%)
日本	75,013	78,233	4.3
中国	18,007	22,892	27.1
その他アジア	9,664	10,324	6.8
北米	9,311	9,545	2.5
ヨーロッパ	21,006	20,942	△0.3
その他地域	358	620	72.9
合計	133,359	142,555	6.9

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

2 中国向けでの増は主に油圧機器と鉄道車両用機器の増加によるものです。

② 税引前四半期利益

金融収益は499百万円、金融費用は、主に為替差損の発生により822百万円となりました。持分法による投資利益は、当社グループの持分法適用関連会社が実施した新株式発行及び自己株式の処分等により、当該持分法適用関連会社に対する持分比率が減少した一方、純資産額が著しく増加したこと等により、前年同期比3,569百万円(104.8%)増加し6,974百万円となりました。その結果、税引前四半期利益は13,038百万円と前年同期比3,955百万円(△23.3%)の減益となりました。

③ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

以上の結果、法人所得税費用4,246百万円及び非支配持分に帰属する四半期利益906百万円を差引いた親会社の所有者に帰属する四半期利益は、7,886百万円と前年同期比4,611百万円(△36.9%)の減益となりました。

また、基本的1株当たり四半期利益は前年同期比37.61円減少し、63.62円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2017年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (2018年6月30日)	増減額
資産	301,557	306,872	5,314
負債	124,556	126,531	1,975
資本	177,002	180,340	3,339

【資産】

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は161,921百万円、非流動資産は144,951百万円であり、その結果、資産合計は306,872百万円と前連結会計年度末比5,314百万円の増加となりました。主な増加要因は、持分法で会計処理されている投資の増加8,103百万円、及び有形固定資産の増加5,891百万円です。主な減少要因は、営業債権の減少7,320百万円、及びのれんの減少5,956百万円です。

【負債】

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は99,542百万円、非流動負債は26,989百万円であり、その結果、負債合計は126,531百万円と前連結会計年度末比1,975百万円の増加となりました。主な増加要因は、その他の債務の増加2,186百万円です。

【資本】

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は180,340百万円となりました。親会社の所有者に帰属する持分合計は170,590百万円と前連結会計年度末比3,053百万円の増加となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益7,886百万円に伴う利益剰余金の増加です。一方、主な減少要因は、配当による利益剰余金の減少4,720百万円です。

② キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,794	13,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,046	△10,492
フリーキャッシュ・フロー	△251	2,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,465	△3,606

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末比720百万円減少し、42,859百万円となりました。これは営業活動により獲得した資金13,379百万円を主に設備投資、配当金の支払に充てた結果です。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは13,379百万円の資金の増加となりました。主な増加要因は、四半期利益、及び営業債権の減少によるものです。一方、主な減少要因は、棚卸資産の増加及び法人所得税の支払によるものです。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは10,492百万円の資金の減少となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出です。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは3,606百万円の資金の減少となりました。主な減少要因は、配当金の支払です。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2018年12月期第2四半期連結累計期間の連結業績及び今後の動向等を踏まえ、2018年2月9日に公表しました2018年12月期通期の業績予想を修正することとしました。

詳細につきましては、2018年7月31日発表の「のれんの減損損失の計上及び2018年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2018年2月9日に公表しました連結業績予想との差異は以下の通りです。

2018年12月期通期 連結業績予想数値の修正(2018年1月1日～2018年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	308,000	32,600	35,900	25,700	208	34
今回修正予想 (B)	307,000	25,000	33,600	23,600	190	41
増減額 (B-A)	△1,000	△7,600	△2,300	△2,100	—	—
増減率 (%)	△0.3	△23.3	△6.4	△8.2	—	—

(セグメント情報)

① 売上高

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想 (A)	129,500	83,600	75,500	19,400	—	308,000
今回修正予想 (B)	128,800	84,400	75,800	18,000	—	307,000
増減額 (B-A)	△700	800	300	△1,400	—	△1,000
増減率 (%)	△0.5	1.0	0.4	△7.2	—	△0.3

② 営業利益

(単位：百万円)

	コンポーネント ソリューション	トランスポート ソリューション	アクセシビリティ ソリューション	その他	全社又は消去	計
前回発表予想 (A)	23,800	9,300	6,000	2,300	△8,800	32,600
今回修正予想 (B)	22,800	2,800	5,200	2,500	△8,300	25,000
増減額 (B-A)	△1,000	△6,500	△800	200	500	△7,600
増減率 (%)	△4.2	△69.9	△13.3	8.7	—	△23.3

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物		44,121	42,859
営業債権		76,874	69,554
契約資産		—	920
その他の債権		1,216	1,125
棚卸資産		40,298	44,181
その他の金融資産		190	351
その他の流動資産		2,996	2,932
流動資産合計		165,695	161,921
非流動資産			
有形固定資産		70,700	76,591
無形資産		5,850	5,312
のれん		21,310	15,353
投資不動産		5,404	5,355
持分法で会計処理されている投資		20,184	28,287
その他の金融資産		8,547	10,037
繰延税金資産		1,633	1,763
その他の非流動資産		2,236	2,253
非流動資産合計		135,863	144,951
資産合計		301,557	306,872

(単位：百万円)

	注記 番号	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務		57,148	50,241
契約負債		—	5,873
社債及び借入金		16,365	17,688
その他の債務		12,492	14,678
未払法人所得税		4,550	3,768
引当金		732	1,040
その他の金融負債		7	15
その他の流動負債		5,641	6,240
流動負債合計		96,934	99,542
非流動負債			
社債及び借入金		11,355	11,236
退職給付に係る負債		9,339	9,085
繰延税金負債		4,801	5,205
その他の非流動負債		2,127	1,463
非流動負債合計		27,621	26,989
負債合計		124,556	126,531
資本			
資本金		10,000	10,000
資本剰余金		14,956	14,982
利益剰余金		143,349	146,508
自己株式		△3,600	△2,902
その他の資本の構成要素		2,831	2,003
親会社の所有者に帰属する持分合計		167,537	170,590
非支配持分		9,465	9,751
資本合計		177,002	180,340
負債及び資本合計		301,557	306,872

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
売上高	2	133,359	142,555
売上原価		△95,165	△104,592
売上総利益		38,194	37,963
その他の収益		356	893
販売費及び一般管理費		△24,327	△26,871
その他の費用		△461	△5,598
営業利益	2	13,761	6,387
金融収益		87	499
金融費用		△259	△822
持分法による投資利益		3,405	6,974
税引前四半期利益		16,993	13,038
法人所得税費用		△3,962	△4,246
四半期利益		13,032	8,792
四半期利益の帰属 親会社の所有者		12,497	7,886
非支配持分		535	906
四半期利益		13,032	8,792
1株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)		101.23	63.62
希薄化後1株当たり四半期利益(円)		101.14	63.58

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益		13,032	8,792
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の純変動		405	58
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分		△1	1,131
純損益に振り替えられることのない 項目合計		404	1,189
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額		825	△2,289
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計		825	△2,289
税引後その他の包括利益合計		1,229	△1,100
四半期包括利益合計		14,261	7,692
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		13,784	7,080
非支配持分		477	612
四半期包括利益合計		14,261	7,692

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2017年1月1日残高		10,000	14,703	125,493	△2,649	△2,788	3,169
四半期利益		—	—	12,497	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	891	418
四半期包括利益合計		—	—	12,497	—	891	418
自己株式の取得及び処分等		—	—	△4	△947	—	—
非支配持分の取得及び処分等		—	—	—	—	—	—
配当金		—	—	△3,229	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	△21	—	—	—
株式報酬取引		—	69	—	—	—	—
所有者との取引額等合計		—	69	△3,253	△947	—	—
2017年6月30日残高		10,000	14,772	134,736	△3,595	△1,897	3,587

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2017年1月1日残高		—	382	147,929	7,974	155,904
四半期利益		—	—	12,497	535	13,032
その他の包括利益		△21	1,288	1,288	△58	1,229
四半期包括利益合計		△21	1,288	13,784	477	14,261
自己株式の取得及び処分等		—	—	△951	—	△951
非支配持分の取得及び処分等		—	—	—	39	39
配当金		—	—	△3,229	△264	△3,492
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		21	21	—	—	—
株式報酬取引		—	—	69	—	69
所有者との取引額等合計		21	21	△4,110	△224	△4,335
2017年6月30日残高		—	1,691	157,603	8,227	165,830

当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	注記 番号	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
						在外営業活動体 の換算差額	公正価値の変動 による評価差額
2018年1月1日残高		10,000	14,956	143,349	△3,600	△773	3,604
四半期利益		—	—	7,886	—	—	—
その他の包括利益		—	—	—	—	△1,990	1,161
四半期包括利益合計		—	—	7,886	—	△1,990	1,161
自己株式の取得及び処分等		—	—	△30	201	—	—
配当金		—	—	△4,720	—	—	—
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		—	—	23	—	—	—
株式報酬取引		—	26	—	—	—	—
その他		—	—	—	496	—	—
所有者との取引額等合計		—	26	△4,727	698	—	—
2018年6月30日残高		10,000	14,982	146,508	△2,902	△2,763	4,765

	注記 番号	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本合計
		確定給付負債 (資産)の純額の 再測定	合計			
2018年1月1日残高		—	2,831	167,537	9,465	177,002
四半期利益		—	—	7,886	906	8,792
その他の包括利益		23	△806	△806	△294	△1,100
四半期包括利益合計		23	△806	7,080	612	7,692
自己株式の取得及び処分等		—	—	171	—	171
配当金		—	—	△4,720	△326	△5,046
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替		△23	△23	—	—	—
株式報酬取引		—	—	26	—	26
その他		—	—	496	—	496
所有者との取引額等合計		△23	△23	△4,026	△326	△4,353
2018年6月30日残高		—	2,003	170,590	9,751	180,340

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	注記 番号	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
四半期利益		13,032	8,792
減価償却費及び償却費		3,957	4,898
減損損失		—	5,249
退職給付に係る資産及び負債の増減額		15	7
受取利息及び受取配当金		△87	△138
支払利息		50	53
持分法による投資損益(△は益)		△3,405	△6,974
固定資産除売却損益(△は益)		48	53
法人所得税費用		3,962	4,246
営業債権の増減額(△は増加)		875	5,709
棚卸資産の増減額(△は増加)		△3,514	△4,923
営業債務の増減額(△は減少)		3,844	△458
その他		795	759
小計		19,572	17,273
利息及び配当金の受取額		456	643
利息の支払額		△115	△45
法人所得税の支払額		△6,119	△4,493
営業活動によるキャッシュ・フロー		13,794	13,379
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の増減額(△増加)		0	△170
有形固定資産の取得による支出		△5,422	△9,565
有形固定資産の売却による収入		49	143
無形資産の取得による支出		△353	△348
連結範囲の変更を伴う子会社の取得による支出		△8,200	—
新株予約権の取得による支出		—	△626
その他		△119	74
投資活動によるキャッシュ・フロー		△14,046	△10,492
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)		6,577	1,549
長期借入れによる収入		460	—
長期借入金の返済		△103	△135
自己株式純増減額		△983	19
配当金の支払額		△3,222	△4,712
非支配持分への配当金の支払額		△264	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,465	△3,606
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		2,214	△720
現金及び現金同等物の期首残高		41,780	44,121
現金及び現金同等物に係る換算差額		△9	△542
現金及び現金同等物の四半期末残高		43,985	42,859

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 継続企業的前提に関する注記

該当事項はありません。

2. 事業セグメント

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、ビジネスモデルの類似性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「コンポーネントソリューション事業」、「トランスポートソリューション事業」、「アクセシビリティソリューション事業」の3報告セグメントに区分しています。

各報告セグメントの区分に属する主な事業内容は以下のとおりです。

事業区分	主な事業内容
コンポーネントソリューション事業	産業用ロボット部品、建設機械用機器等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
トランスポートソリューション事業	鉄道車両用ブレーキ装置・自動扉装置、航空機部品、自動車用ブレーキ装置・駆動制御装置、船用制御装置等及びこれらの部品の設計、製造、販売、保守、修理
アクセシビリティソリューション事業	建物及び一般産業用自動扉装置、プラットフォーム安全設備等及びこれらの部品の設計、製造、販売、据付、保守、修理

(2) 報告セグメントに関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	53,412	36,722	35,540	125,675	7,684	133,359	—	133,359
セグメント間売上高	1,018	177	2	1,197	332	1,529	△1,529	—
売上高合計	54,430	36,899	35,542	126,872	8,017	134,888	△1,529	133,359
セグメント利益 (営業利益)	10,030	3,900	2,304	16,234	695	16,928	△3,168	13,761
金融収益				—				87
金融費用				—				△259
持分法による投資利益				—				3,405
税引前四半期利益				—				16,993

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、真空機械、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益(営業利益)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	要約四半期 連結損益 計算書計上額
	コンポー ネント	トランス ポート	アクセシ ビリティ	計				
売上高								
外部売上高	59,814	38,045	36,076	133,936	8,620	142,555	—	142,555
セグメント間売上高	1,201	239	5	1,445	132	1,576	△1,576	—
売上高合計	61,015	38,284	36,081	135,380	8,751	144,132	△1,576	142,555
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	10,587	△2,938	1,463	9,112	1,278	10,390	△4,003	6,387
金融収益	—							499
金融費用	—							△822
持分法による投資利益	—							6,974
税引前四半期利益	—							13,038

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、包装機械、立体モデル作成装置、工作機械等及びこれらの部品の設計、製造販売、保守、修理を行う事業で構成されています。

2 売上高の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益又は損失(営業利益又は損失)の調整額は、各セグメントに配賦されない全社損益等です。

3. 補足情報

(1) セグメント別受注残高

セグメントの名称	前第2四半期連結会計期間末 (2017年6月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (2018年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンポーネントソリューション事業	25,817	21.7	27,795	22.7
トランスポートソリューション事業	54,121	45.5	54,401	44.5
アクセシビリティソリューション事業	31,191	26.2	32,034	26.2
その他	7,878	6.6	8,122	6.6
合計	119,008	100.0	122,352	100.0